

国民年金 遺族 基礎年金受給権者の所在不明による支給停止 申請書  
 厚生年金保険 遺族 厚生年金受給権者の所在不明による支給停止解除 申請書

(受給権者の所在が1年以上明らかでないとき、またはその所在が明らかになったときの届)

① 所在不明であった者	⑦	年金証書の基礎年金番号																		
	⑦	年金証書の年金コード																		
	①	生 年 月 日	明治・大正・昭和・平成																	
	⑦	(フリガナ) 氏 名	(氏)																	
	⑤	住 所																		
②		所在不明となった年月日	平成・令和																	
③ 所在不明であった者以外の受給権者	1	⑦	年金証書の基礎年金番号 および年金コード	基礎年金番号					年金コード											
		①	生 年 月 日	明治・大正・昭和・平成																
		⑦	(フリガナ) 氏 名	(氏)																※ 障害の 種 別
		⑤	(フリガナ) 住 所																	
	2	⑦	年金証書の基礎年金番号 および年金コード	基礎年金番号					年金コード											
		①	生 年 月 日	明治・大正・昭和・平成																
		⑦	(フリガナ) 氏 名	(氏)																※ 障害の 種 別
		⑤	(フリガナ) 住 所																	
	3	⑦	年金証書の基礎年金番号 および年金コード	基礎年金番号					年金コード											
		①	生 年 月 日	明治・大正・昭和・平成																
		⑦	(フリガナ) 氏 名	(氏)																※ 障害の 種 別
		⑤	(フリガナ) 住 所																	

令和 年 月 日 提出 郵便番号  -

住 所

申請者 (フリガナ)  
(受給権者) 氏 名

電話番号 ( ) - ( ) - ( )



④ ○ 受給権者の個人番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(裏面の「記入上の注意」をよく読んでから記入してください。)

## 記入上の注意

1. 遺族基礎年金・遺族厚生年金の受給権者の所在が1年以上わからないときは、標題の「支給停止」の文字を○で囲んでください。

所在不明であった者の所在がわかったときは、標題の「支給停止解除」の文字を○で囲んでください。

- (1) 「支給停止」を○で囲んだとき

①、②および③を記入してください。

③は、所在不明となった者以外の受給権者で遺族基礎年金・遺族厚生年金をうけることができる方全員の生年月日、氏名および住所を記入してください。

- (2) 「支給停止解除」を○で囲んだとき

①と③を記入してください。

2. ④年号は、該当する文字を○で囲んでください。生年月日が、たとえば昭和29年1月6日生まれの

場合は、

明治・大正・ <b>昭和</b> ・平成	2	9	0	1	0	6
----------------------	---	---	---	---	---	---

のように記入してください。

3. ①の㊦および③の㊧、㊨「フリガナ」は、カタカナで正確に記入してください。

## この申請書に添えなければならない書類

- (1) 「支給停止」を○で囲んだとき

所在不明者の所在が1年以上明らかでないことを証する書類

- (2) 「支給停止解除」を○で囲んだとき

1. 受給権者の年金証書等

2. 提出する日前1月以内に作成された受給権者の生存が確認できる戸籍謄本（④欄に**個人番号（マイナンバー）**を記載することで省略できます。）

3. 受給権者が父または母のときは、所在不明とされていた間、引き続き子と生計を同じくしていたことを明らかにすることができる書類